

湘南 大庭

まちづくりテーマ ふじさわ未来課題

テーマ

住みたい・住み続けたいまち 湘南大庭

概況

湘南大庭地区の人口は、2010年4月1日現在で32,041人で全市の7.9%を占めています。65歳以上の人口が占める割合(高齢化率)は、18.4%で13地区の中では6番目に低い地区となっていますが、10年後の2020年には、33.7%と推計されており、13地区で一番高齢化率が高い地区となり、急激に高齢化が進む地区となっています。

湘南大庭地区の地勢は、藤沢市の西北部、藤沢駅から4km、辻堂駅から2kmに位置し、面積は5,16km²、相模原台地、座間・高座丘陵の南端に属したゆるやかな起伏に富んだみどり豊かな丘陵地で、東境には引地川が流れ、大庭千石と呼ばれた水田地帯が広がり、西境には茅ヶ崎市のみどりと隣接する自然の豊かなところです。

15万年くらいまでは海底だったと言われ、1万年前くらい前に小さな集落ができはじめたことが、大庭の城山・築山の遺構から推測されており、大庭城址をはじめとする歴史的な文化財も点在しているところです。

湘南大庭地区のまちづくりは、昭和40年代に押し寄せてきた無秩序な開発の波によるスプロール化を防ぎ、計画的な開発を行いすぐれた自然環境を葆ち、農地と調和した新しい住宅市街地をつくることを目的として「都市と農業の調和するまち 湘南ライフタウン」の総合的まちづくりが行われたことによって始まっています。



中央けき通り

重点

ふじさわ未来課題

重点未来課題として、地区で選択

課題領域	めざす方向性	(1) 地域各層型の「暮らし」を育むまち	(2) 明日の暮らしを担う暮らしの子どもたちを育て育む	(3) 市民力・地域力による安全で安心して暮らせるまち	(4) 共に生き、共に創る地域社会の創出	(5) 豊かな地域資源の次世代への継承・発展	(6) 地球温暖化防止など気候・環境への対応	(7) 「暮らしづくり」を支える公共サービスの充実	(8) 公共サービスの維持・向上と有効活用	(9) 「暮らしの質」を高める
(A) 市民生活の安定(安全・まち歩き・安らぎ)	1 市民生活の安定(安全・まち歩き・安らぎ)	11 地域各層型の「暮らし」を育むまち	12 明日の暮らしを担う暮らしの子どもたちを育て育む	13 市民力・地域力による安全で安心して暮らせるまち	14 共に生き、共に創る地域社会の創出	15 豊かな地域資源の次世代への継承・発展	16 地球温暖化防止など気候・環境への対応	17 「暮らしづくり」を支える公共サービスの充実	18 公共サービスの維持・向上と有効活用	19 「暮らしの質」を高める
	2 市民生活の豊かさ(役に立つ・便利・快適・楽しい)	21 市民自身が課題を担う活動に積極的であること	22 市民自身が課題を担う活動に積極的であること	23 市民自身が課題を担う活動に積極的であること	24 市民自身が課題を担う活動に積極的であること	25 市民自身が課題を担う活動に積極的であること	26 市民自身が課題を担う活動に積極的であること	27 市民自身が課題を担う活動に積極的であること	28 市民自身が課題を担う活動に積極的であること	29 市民自身が課題を担う活動に積極的であること
(B) 市民生活の豊かさ(役に立つ・便利・快適・楽しい)	3 市民自身が課題を担う活動に積極的であること	31 市民自身が課題を担う活動に積極的であること	32 市民自身が課題を担う活動に積極的であること	33 市民自身が課題を担う活動に積極的であること	34 市民自身が課題を担う活動に積極的であること	35 市民自身が課題を担う活動に積極的であること	36 市民自身が課題を担う活動に積極的であること	37 市民自身が課題を担う活動に積極的であること	38 市民自身が課題を担う活動に積極的であること	39 市民自身が課題を担う活動に積極的であること
	4 市民生活の安定(安全・まち歩き・安らぎ)	41 市民生活の安定(安全・まち歩き・安らぎ)	42 市民生活の安定(安全・まち歩き・安らぎ)	43 市民生活の安定(安全・まち歩き・安らぎ)	44 市民生活の安定(安全・まち歩き・安らぎ)	45 市民生活の安定(安全・まち歩き・安らぎ)	46 市民生活の安定(安全・まち歩き・安らぎ)	47 市民生活の安定(安全・まち歩き・安らぎ)	48 市民生活の安定(安全・まち歩き・安らぎ)	49 市民生活の安定(安全・まち歩き・安らぎ)
(C) 持続的活動(伝える・維持する)	5 市民生活の安定(安全・まち歩き・安らぎ)	51 市民生活の安定(安全・まち歩き・安らぎ)	52 市民生活の安定(安全・まち歩き・安らぎ)	53 市民生活の安定(安全・まち歩き・安らぎ)	54 市民生活の安定(安全・まち歩き・安らぎ)	55 市民生活の安定(安全・まち歩き・安らぎ)	56 市民生活の安定(安全・まち歩き・安らぎ)	57 市民生活の安定(安全・まち歩き・安らぎ)	58 市民生活の安定(安全・まち歩き・安らぎ)	59 市民生活の安定(安全・まち歩き・安らぎ)
	6 市民生活の安定(安全・まち歩き・安らぎ)	61 市民生活の安定(安全・まち歩き・安らぎ)	62 市民生活の安定(安全・まち歩き・安らぎ)	63 市民生活の安定(安全・まち歩き・安らぎ)	64 市民生活の安定(安全・まち歩き・安らぎ)	65 市民生活の安定(安全・まち歩き・安らぎ)	66 市民生活の安定(安全・まち歩き・安らぎ)	67 市民生活の安定(安全・まち歩き・安らぎ)	68 市民生活の安定(安全・まち歩き・安らぎ)	69 市民生活の安定(安全・まち歩き・安らぎ)
(D) 創造・推進活動(発展・チャレンジ)	7 市民生活の安定(安全・まち歩き・安らぎ)	71 市民生活の安定(安全・まち歩き・安らぎ)	72 市民生活の安定(安全・まち歩き・安らぎ)	73 市民生活の安定(安全・まち歩き・安らぎ)	74 市民生活の安定(安全・まち歩き・安らぎ)	75 市民生活の安定(安全・まち歩き・安らぎ)	76 市民生活の安定(安全・まち歩き・安らぎ)	77 市民生活の安定(安全・まち歩き・安らぎ)	78 市民生活の安定(安全・まち歩き・安らぎ)	79 市民生活の安定(安全・まち歩き・安らぎ)
	8 市民生活の安定(安全・まち歩き・安らぎ)	81 市民生活の安定(安全・まち歩き・安らぎ)	82 市民生活の安定(安全・まち歩き・安らぎ)	83 市民生活の安定(安全・まち歩き・安らぎ)	84 市民生活の安定(安全・まち歩き・安らぎ)	85 市民生活の安定(安全・まち歩き・安らぎ)	86 市民生活の安定(安全・まち歩き・安らぎ)	87 市民生活の安定(安全・まち歩き・安らぎ)	88 市民生活の安定(安全・まち歩き・安らぎ)	89 市民生活の安定(安全・まち歩き・安らぎ)
(E) 交流基盤(交流・つながり・連携)	9 市民生活の安定(安全・まち歩き・安らぎ)	91 市民生活の安定(安全・まち歩き・安らぎ)	92 市民生活の安定(安全・まち歩き・安らぎ)	93 市民生活の安定(安全・まち歩き・安らぎ)	94 市民生活の安定(安全・まち歩き・安らぎ)	95 市民生活の安定(安全・まち歩き・安らぎ)	96 市民生活の安定(安全・まち歩き・安らぎ)	97 市民生活の安定(安全・まち歩き・安らぎ)	98 市民生活の安定(安全・まち歩き・安らぎ)	99 市民生活の安定(安全・まち歩き・安らぎ)
	10 市民生活の安定(安全・まち歩き・安らぎ)	101 市民生活の安定(安全・まち歩き・安らぎ)	102 市民生活の安定(安全・まち歩き・安らぎ)	103 市民生活の安定(安全・まち歩き・安らぎ)	104 市民生活の安定(安全・まち歩き・安らぎ)	105 市民生活の安定(安全・まち歩き・安らぎ)	106 市民生活の安定(安全・まち歩き・安らぎ)	107 市民生活の安定(安全・まち歩き・安らぎ)	108 市民生活の安定(安全・まち歩き・安らぎ)	109 市民生活の安定(安全・まち歩き・安らぎ)
(F) 市民生活の基盤(学ぶ・育む・人材育成・世代みどり)	11 市民生活の安定(安全・まち歩き・安らぎ)	111 市民生活の安定(安全・まち歩き・安らぎ)	112 市民生活の安定(安全・まち歩き・安らぎ)	113 市民生活の安定(安全・まち歩き・安らぎ)	114 市民生活の安定(安全・まち歩き・安らぎ)	115 市民生活の安定(安全・まち歩き・安らぎ)	116 市民生活の安定(安全・まち歩き・安らぎ)	117 市民生活の安定(安全・まち歩き・安らぎ)	118 市民生活の安定(安全・まち歩き・安らぎ)	119 市民生活の安定(安全・まち歩き・安らぎ)
	12 市民生活の安定(安全・まち歩き・安らぎ)	121 市民生活の安定(安全・まち歩き・安らぎ)	122 市民生活の安定(安全・まち歩き・安らぎ)	123 市民生活の安定(安全・まち歩き・安らぎ)	124 市民生活の安定(安全・まち歩き・安らぎ)	125 市民生活の安定(安全・まち歩き・安らぎ)	126 市民生活の安定(安全・まち歩き・安らぎ)	127 市民生活の安定(安全・まち歩き・安らぎ)	128 市民生活の安定(安全・まち歩き・安らぎ)	129 市民生活の安定(安全・まち歩き・安らぎ)

① 市民生活の安定(安全・まち歩き・安らぎ) ② 市民生活の安定(安全・まち歩き・安らぎ) ③ 市民生活の安定(安全・まち歩き・安らぎ) ④ 市民生活の安定(安全・まち歩き・安らぎ)

湘南台

まちづくりテーマ

ふじさわ未来課題

テーマ

川と緑に囲まれ 豊かな居住環境あふれる 文化創造のまち

概況

湘南台地区は、藤沢市の北部に位置し、昭和40年代に土地区画整理事業により約200ヘクタールの住宅地として拓けた新しいまちです。地勢は、境川と引地川に挟まれた台地であり、地区内は、ほぼ平坦な地形となっています。

人口は、4月1日現在28,170人で、全市の6.9%を占めています。65歳以上の人口が占める割合は15.17%で、市内で最も高齢化率が低い地区です。

昭和41年に小田急電鉄江ノ島線湘南台駅が開業し、現在では、横浜市営地下鉄や相鉄いずみの線も乗り入れ、1日の乗降客数が約15万人にのぼる市北部のターミナル駅として活況を呈しています。

湘南台駅の東西は商業地区として拓け、その周辺は住宅街を形成しています。湘南台地区の西部には、いすゞ自動車、桐原工業団地などの工業集積があり、藤沢市全体の製造品出荷額の約60%近くを占めています。また、湘南台駅は、多摩大学湘南キャンパスや慶応大学湘南藤沢キャンパスなどの最寄り駅となっており、若者の多いまちです。

湘南台地区には、湘南台文化センター、総合市民図書館、湘南台小学校、湘南台中学校、湘南台高校などの文化・教育施設のほか、藤沢北警察署、北消防署、藤沢北郵便局などの公共施設が集中しています。そのほか湘南台公園や円行公園などの都市公園も多く、緑と自然があふれる文化的都市環境を形成しています。



湘南台文化センター、総合市民図書館などの文化・教育施設

重点ふじさわ未来課題

重点未来課題として、地区で選択

課題領域	めざす方向性	(1) 地域自給型の「暮らしづくり」を推進すること	(2) 目的の移住を呼び寄せること	(3) 市民力・地域力による社会での暮らしを促すこと	(4) 前に生き、共に創る地域社会の創造	(5) 豊かな地域資源の次世代への継承・発展	(6) 地球温暖化防止など気候変動への対応	(7) 「暮らしづくり」を支える都市環境の整備と生活環境の活性化	(8) 公共資産の維持管理と有効活用	(9) 「暮らしスタイル」の創造
生活	(A) 市民生活の充実(安全・暮らしを安心・安らぎ)	1 身近な地域での暮らしやすさを確保していること	8 市民自ら、人にかたがたしい手を取りあうこと	17 保健、医療、福祉などの生活課題が解決しやすいこと	24 健康や育育けに資する市民力・地域力の創造	35 まちと自然環境の調和がとれていること	46 生活の便利さと環境保全の両方が実現していること	59 商店に親しみやすいまちを創出していること	66 市民の創意と意欲を促し、育てられていること	75 活気があり、開放的なまちであること
	(B) 市民生活の豊かさ(例に立つ「便利・快適・美しい」)	2 市民が自慢できるまちであること	9 子どもを安心して育てられる環境があること	18 治安の良い環境があること	23 子育て世代に支えられ、暮らしやすいまちであること	37 市民、地域、行政が協力し、快適な生活が実現していること	48 豊かな暮らしが実現していること	63 市民の創意と意欲を促し、育てられていること	72 日常に安心・安全な暮らしが実現していること	81 市民が安心して暮らすことができるまちであること
活動	(C) 持続的活動(伝える・維持する)	4 暮らしで活用できる様々な活動を実施していること	10 子どもが、住んでいるまちで活動していること	20 安全・安心なまちづくりが実現していること	26 地域のための一人ひとりの活動が大切にされていること	39 身近にある場所が大切に活用されていること	50 地域にある様々な活動が実現していること	64 市民の創意と意欲を促し、育てられていること	73 市民が活用する場所が実現していること	82 市民の創意と意欲を促し、育てられていること
	(D) 創造・推進活動(発展・チャレンジ)	5 地域で創意して、新たな活動が行われていること	12 地域活動で、新たな活動が行われていること	21 市民が協力しあっていること	29 いろいろな世代、いろいろな活動が行われていること	41 前向きな活動が行われていること	57 先進的な活動が行われていること	70 市民の創意と意欲を促し、育てられていること	79 市民の創意と意欲を促し、育てられていること	88 市民の創意と意欲を促し、育てられていること
基盤	(E) 交流基盤(交流・つながり・連携)	3 様々な組織と市民の連携が実現していること	13 様々な世代が、協力しあっていること	19 様々な世代が、協力しあっていること	31 社会課題の解決に資する活動が行われていること	42 市民が協力しあっていること	54 市民の創意と意欲を促し、育てられていること	67 市民の創意と意欲を促し、育てられていること	76 市民の創意と意欲を促し、育てられていること	85 市民の創意と意欲を促し、育てられていること
	(F) 市民生活の基盤(学び・育む・人材育成・仕組みづくり)	6 学びの場が充実していること	14 学び、交流、地域のつながりを通じた活動が行われていること	22 様々な世代が、協力しあっていること	32 様々な世代が、協力しあっていること	44 市民が協力しあっていること	56 市民の創意と意欲を促し、育てられていること	69 市民の創意と意欲を促し、育てられていること	78 市民の創意と意欲を促し、育てられていること	87 市民の創意と意欲を促し、育てられていること

① 重点課題の課題解決で関係向上へ
② 学びや能力の維持向上を
③ より効果的に課題の解決を
④ 活動と連携ある未来課題

遠藤

まちづくりテーマ ふじさわ未来課題

テーマ

新たな時代を導く「健康と文化の森」を含めた豊かな自然と文化あふれる“人と自然がいきづくまち”をめざします。

概況

人口については、2010年4月1日現在で10,979人で全市の2.7%を占め世帯数は4,234世帯で、市内13地区では1番少ない地区になります。65歳以上の人口の占める割合（高齢化率）は16.8%で湘南台地区地区について2番目に低い地区となっています。

遠藤地区の地勢としては、藤沢市の西北部に位置し、面積は4.96km²、農地が多く、東は六会地区石川、西は御所見地区打戻との間に挟まれ、南北に長い地形となっています。地区は台地部と谷戸部に分けられ、台地上の北東部から南東部にかけて、中世の頃から発達した集落が多く存在し、谷戸部は琵琶島等に源流を持つ小出川を中心に形成され、古くからその富んだ地形を利用して農業を中心に町を形成してきました。

地区のまちづくりは、昭和60年代に入り、西部に「健康と文化の森」構想が展開されたことを契機に大きな変化を遂げました。現在は慶応大学藤沢湘南キャンパスが開校され、周辺一帯の幹線道路が複数整備されるなど都市基盤整備も進展しています。

農業地の耕地整理事業は、これまで③箇所を整備しました。土地区画整理事業としては、東部において北部第二（二地区）による工業地が形成されたほか、秋葉台公園を含む北部第二（三地区）事業、菖蒲沢境地区事業、打越地区事業が現在も進められています。

また、公共交通として湘南台駅から遠藤地区に向けて軌道系交通施設が具体化されようとしています。



遠藤地区のまちなみ

重点ふじさわ未来課題

重点未来課題として、地区で選択

課題領域	めざす方向性	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)
(A) 市民生活の安定(安全・まち歩き・暮らし)	1 身近な地域での暮らしやすさが実現していること	10 市民生活の安定(安全・まち歩き・暮らし)	11 市民生活の安定(安全・まち歩き・暮らし)	12 市民生活の安定(安全・まち歩き・暮らし)	13 市民生活の安定(安全・まち歩き・暮らし)	14 市民生活の安定(安全・まち歩き・暮らし)	15 市民生活の安定(安全・まち歩き・暮らし)	16 市民生活の安定(安全・まち歩き・暮らし)	17 市民生活の安定(安全・まち歩き・暮らし)	18 市民生活の安定(安全・まち歩き・暮らし)
	2 市民生活の豊かさ(役に立つ・便利・快適・楽しい)	19 市民生活の豊かさ(役に立つ・便利・快適・楽しい)	20 市民生活の豊かさ(役に立つ・便利・快適・楽しい)	21 市民生活の豊かさ(役に立つ・便利・快適・楽しい)	22 市民生活の豊かさ(役に立つ・便利・快適・楽しい)	23 市民生活の豊かさ(役に立つ・便利・快適・楽しい)	24 市民生活の豊かさ(役に立つ・便利・快適・楽しい)	25 市民生活の豊かさ(役に立つ・便利・快適・楽しい)	26 市民生活の豊かさ(役に立つ・便利・快適・楽しい)	27 市民生活の豊かさ(役に立つ・便利・快適・楽しい)
(B) 地域活動(伝える・維持する)	3 市民生活の豊かさ(役に立つ・便利・快適・楽しい)	28 市民生活の豊かさ(役に立つ・便利・快適・楽しい)	29 市民生活の豊かさ(役に立つ・便利・快適・楽しい)	30 市民生活の豊かさ(役に立つ・便利・快適・楽しい)	31 市民生活の豊かさ(役に立つ・便利・快適・楽しい)	32 市民生活の豊かさ(役に立つ・便利・快適・楽しい)	33 市民生活の豊かさ(役に立つ・便利・快適・楽しい)	34 市民生活の豊かさ(役に立つ・便利・快適・楽しい)	35 市民生活の豊かさ(役に立つ・便利・快適・楽しい)	36 市民生活の豊かさ(役に立つ・便利・快適・楽しい)
	4 市民生活の豊かさ(役に立つ・便利・快適・楽しい)	37 市民生活の豊かさ(役に立つ・便利・快適・楽しい)	38 市民生活の豊かさ(役に立つ・便利・快適・楽しい)	39 市民生活の豊かさ(役に立つ・便利・快適・楽しい)	40 市民生活の豊かさ(役に立つ・便利・快適・楽しい)	41 市民生活の豊かさ(役に立つ・便利・快適・楽しい)	42 市民生活の豊かさ(役に立つ・便利・快適・楽しい)	43 市民生活の豊かさ(役に立つ・便利・快適・楽しい)	44 市民生活の豊かさ(役に立つ・便利・快適・楽しい)	45 市民生活の豊かさ(役に立つ・便利・快適・楽しい)
(C) 交流基盤(交流・つながり・連携)	5 市民生活の豊かさ(役に立つ・便利・快適・楽しい)	46 市民生活の豊かさ(役に立つ・便利・快適・楽しい)	47 市民生活の豊かさ(役に立つ・便利・快適・楽しい)	48 市民生活の豊かさ(役に立つ・便利・快適・楽しい)	49 市民生活の豊かさ(役に立つ・便利・快適・楽しい)	50 市民生活の豊かさ(役に立つ・便利・快適・楽しい)	51 市民生活の豊かさ(役に立つ・便利・快適・楽しい)	52 市民生活の豊かさ(役に立つ・便利・快適・楽しい)	53 市民生活の豊かさ(役に立つ・便利・快適・楽しい)	54 市民生活の豊かさ(役に立つ・便利・快適・楽しい)
	6 市民生活の豊かさ(役に立つ・便利・快適・楽しい)	55 市民生活の豊かさ(役に立つ・便利・快適・楽しい)	56 市民生活の豊かさ(役に立つ・便利・快適・楽しい)	57 市民生活の豊かさ(役に立つ・便利・快適・楽しい)	58 市民生活の豊かさ(役に立つ・便利・快適・楽しい)	59 市民生活の豊かさ(役に立つ・便利・快適・楽しい)	60 市民生活の豊かさ(役に立つ・便利・快適・楽しい)	61 市民生活の豊かさ(役に立つ・便利・快適・楽しい)	62 市民生活の豊かさ(役に立つ・便利・快適・楽しい)	63 市民生活の豊かさ(役に立つ・便利・快適・楽しい)
(D) 市民生活の基盤(学ぶ・育む・人材育成・仕組みづくり)	7 市民生活の豊かさ(役に立つ・便利・快適・楽しい)	64 市民生活の豊かさ(役に立つ・便利・快適・楽しい)	65 市民生活の豊かさ(役に立つ・便利・快適・楽しい)	66 市民生活の豊かさ(役に立つ・便利・快適・楽しい)	67 市民生活の豊かさ(役に立つ・便利・快適・楽しい)	68 市民生活の豊かさ(役に立つ・便利・快適・楽しい)	69 市民生活の豊かさ(役に立つ・便利・快適・楽しい)	70 市民生活の豊かさ(役に立つ・便利・快適・楽しい)	71 市民生活の豊かさ(役に立つ・便利・快適・楽しい)	72 市民生活の豊かさ(役に立つ・便利・快適・楽しい)
	8 市民生活の豊かさ(役に立つ・便利・快適・楽しい)	73 市民生活の豊かさ(役に立つ・便利・快適・楽しい)	74 市民生活の豊かさ(役に立つ・便利・快適・楽しい)	75 市民生活の豊かさ(役に立つ・便利・快適・楽しい)	76 市民生活の豊かさ(役に立つ・便利・快適・楽しい)	77 市民生活の豊かさ(役に立つ・便利・快適・楽しい)	78 市民生活の豊かさ(役に立つ・便利・快適・楽しい)	79 市民生活の豊かさ(役に立つ・便利・快適・楽しい)	80 市民生活の豊かさ(役に立つ・便利・快適・楽しい)	81 市民生活の豊かさ(役に立つ・便利・快適・楽しい)

1 市民生活の豊かさ(役に立つ・便利・快適・楽しい)

2 市民生活の豊かさ(役に立つ・便利・快適・楽しい)

3 市民生活の豊かさ(役に立つ・便利・快適・楽しい)

4 市民生活の豊かさ(役に立つ・便利・快適・楽しい)

長後

まちづくりテーマ

ふじさわ未来課題

テーマ

さあつくろう！まちの輪・ひとの和・みどりの環

概況

長後地区は、藤沢市の北東部に位置し、長後・高倉・下土棚・土棚の4つの地域から形成されています。

この地域は、古くから、大山街道と滝山街道が交差する交通の要衝、宿場町として栄え、江戸時代から旅籠や商店が建ち並び、付近の農村の中心地として栄えていました。かつて「長後宿」と呼ばれたころの長後の町は、両街道を通る旅人や荷駄の休憩地であり、また、近郷の農村では養蚕が盛んに行われ、マコ取引の場として、人々が集まり、商人が店を構えるようになりました。

養蚕が盛んになったのは、明治中頃からで、これは、横浜港における生糸貿易の隆盛と連動し、この養蚕は、大正、昭和の初期まで栄え、当時の農家の重要な収入源となっていました。養蚕の発展に伴い、当地がマコの産地ということから付近には製紙工場が誘致されて工場で働く女工たちの憩いの街でもあり、近郷近在の中心であった「長後宿」は商業の街として別名「織姫の町」として発展し賑わいました。



長後公園

時代は移り、当地の最大の交通機関である「小田急江ノ島線」が開通し、「長後駅」が誕生したのは昭和4年4月のことであり、現在も北部の交通の中心となっています。

町としての形成は、昭和30年に高座郡渋谷町から「長後・高倉」が藤沢市に編入され、その後、六会地区の下土棚と土棚が編入され現在に至っています。

藤沢市に編入(合併)した渋谷町の南端が長後であったが、長後の商店街は、もともとこの付近の商業の中心地であり、近隣から多くの日用品などを買い求める人々で賑わっていました。昭和42年には、長後駅にスーパーマーケットが開店し、さらに、昭和44年には、この地域にはじめてのデパートが開店するなど、商店街として大きな商圏を持っていました。しかし、近年では、駅中心部を通過する自動車交通の影響を受け、安心して買い物ができる環境になく、さらに、郊外型店舗の影響や既存店舗の撤退等により、集客力は低下してきています。また、道路の拡幅等の都市基盤整備がなされないまま発展してきた町であるため、幹線道路の不足や生活道路の狭あい、行き止まりなど生活上、多くの課題を抱えるようになってきています。このような状況において、喫緊の課題として駅西口整備事業や計画中の都市計画道路の早期着工及び駅北側の踏切の交通渋滞の解消を図ることが地域住民の切実な要望となっています。

重点 ふじさわ未来課題

重点未来課題として、地区で選択

課題領域	めざす方向性	(1) 地域自らの課題解決に向けた取り組み	(2) 市民自ら、人によりしやすさを高めること	(3) 市民力・地域力による安全・安心・暮らしの向上	(4) 共に生き、共に創る地域社会の創出	(5) 豊かな地域資源の活用	(6) 地球温暖化防止など地球環境への貢献	(7) 「藤沢づくり」を支える都市基盤の整備と地域経済の活力再生	(8) 公共資産の維持管理と有効活用	(9) 「藤沢ライフスタイル」の創出
生活	(A) 市民生活の安定(安心・暮らし・安らぎ)	身近な地域で安心して暮らすことが実現していること	市民自ら、人によりしやすさを高めること	17 健康、医療、福祉、健康などの生活課題が解決しやすくなっていること	24 緑地や水かけによる市民同士のコミュニティづくりが実現していること	35 まちと自然環境の調和がとれていること	48 生活の便利さと環境の両方が実現していること	52 安全に楽しみや家族の思い出が生まれること	68 市民の財産である自然を守り、育てられていること	73 法気があり、開放的で思いやりがあること
	(B) 市民生活の豊かさ(役に立つ・便利・快適・楽しい)	2 市民が自慢できるまちであること	3 子どもを安心して暮らせる環境があること	18 災害に耐えて、市民が安心・暮らしやすいまちであること	25 生活環境を守りながら地域でまったりできること	36 誰もが快適に暮らせるまちであること	47 みんなが協力し、いつまでもまがきれいなまちであること	57 すべての世代が活躍できること	67 移動や利用に合わせたサービスが受けられること	74 自然の豊かさを活かしていること
活動	(C) 市民生活の豊かさ(役に立つ・便利・快適・楽しい)	3 市民が自慢できるまちであること	4 市民が自慢できるまちであること	19 安全な暮らしを実現していること	26 子育て世代を支える環境が実現していること	37 市民、事業者、行政が協力し、多様な生活が実現していること	46 豊かな暮らしが実現していること	56 地域の特色を活かしたまちづくりが実現していること	66 暮らしに安心や豊かさを与えられる環境があること	76 法気があり、開放的で思いやりがあること
	(D) 市民生活の豊かさ(役に立つ・便利・快適・楽しい)	4 市民が自慢できるまちであること	5 市民が自慢できるまちであること	20 安全・安心を高める活動が実現していること	27 若い世代が活躍できる環境があること	38 身近な課題を解決していること	49 市民の暮らしが向上していること	59 安全で安心なまちづくりが実現していること	69 暮らしに安心や豊かさを与えられる環境があること	79 暮らしに安心や豊かさを与えられる環境があること
交流	(E) 市民生活の豊かさ(役に立つ・便利・快適・楽しい)	5 市民が自慢できるまちであること	6 市民が自慢できるまちであること	21 安全・安心を高める活動が実現していること	28 地域のつながりやコミュニティの機能が実現していること	39 身近な課題を解決していること	50 市民の暮らしが向上していること	60 暮らしに安心や豊かさを与えられる環境があること	70 暮らしに安心や豊かさを与えられる環境があること	80 暮らしに安心や豊かさを与えられる環境があること
	(F) 市民生活の豊かさ(役に立つ・便利・快適・楽しい)	6 市民が自慢できるまちであること	7 市民が自慢できるまちであること	22 安全・安心を高める活動が実現していること	29 地域のつながりやコミュニティの機能が実現していること	40 身近な課題を解決していること	51 市民の暮らしが向上していること	61 暮らしに安心や豊かさを与えられる環境があること	71 暮らしに安心や豊かさを与えられる環境があること	81 暮らしに安心や豊かさを与えられる環境があること

① 市民生活の課題解決を促進する
② 安全・安心・暮らしの向上
③ 豊かな地域資源の活用
④ 地球温暖化防止など地球環境への貢献
⑤ 「藤沢づくり」を支える都市基盤の整備と地域経済の活力再生
⑥ 公共資産の維持管理と有効活用
⑦ 「藤沢ライフスタイル」の創出

御所見

まちづくりテーマ

ふじさわ未来課題

テーマ

住んで、見て、歩いて分かるまちの良さ

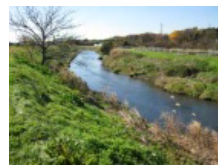
＝地域資源を活かし、北部新中心拠点を目指します＝

概況

「御所見」の由来については、1019年（長元2年）、桓武天皇第三皇子葛原親王より出た坂東平氏の一族である長田氏が葛原の地を私領、垂木主膳正従四位下長田武蔵守忠望がこの地に館を構え、それが「垂木御所」と呼ばれるようになり、その御所が菖蒲沢の塚より展望できたのでこの塚を「御所見塚」と呼ぶようになったといわれています。

1889年（明治22年）市制町村制実施により、六つの村が合併して一つの村となり、菖蒲沢にあった御所見塚にちなんで御所見村と名づけられました。その昔、江戸から十四里（56km）のところの位置し、大山街道（現在の県道横浜伊勢原線）と中原街道（現在の県道丸子中山茅ヶ崎線）が交わる用田辻付近は、旅籠や茶店が集まり、大山参りの人たちで賑わっていたとされています。その後、1955年（昭和30年）藤沢市合併後に現在の御所見地区となりました。

現在の御所見地区は、北を綾瀬市、西を海老名市、寒川町、南を茅ヶ崎市に囲まれています。宮原や葛原では植木の畑が続きます。その中に一段と緑の濃い神社の森があります。打戻の宇都母知神社をはじめとして、御所見地区の神社は大きな森に囲まれています。畑の広がるあたりでは見通しもよく、西に大山や富士山を望むことができます。



カワセミの樓む目久尻川



小出川の彼岸花

重点ふじさわ未来課題

重点未来課題として、地区で選択

課題領域	めざす方向性	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)
生活	(A) 市民生活の安定（安定・落ち着き・安らぎ）	1 身近な地域での暮らしやすさが実現していること	8 市民自ら、人にやさしい手をさしのべること	17 保健、医療、福祉、福祉などの生活環境が整い暮らしやすくなっていること	24 駅前や駅が「か」による賑わいの場として、アクションがとれていること	35 まちと自然環境の調和がとれていること	46 生活の便利さと環境の両方が実現されていること	56 身近に親しみや愛着のもてる景観があること	66 市民の財産である緑を大切に育てられていること	73 清潔であり、簡便的で使いやすいまちであること
	(B) 市民生活の豊かさ（役に立つ・便利・快適・楽しい）	2 市民が自慢できるまちであること	9 子どもを安心して育てられる環境があること	18 災害に対して、市民が不安なく暮らせるまちであること	26 子育て世代を支える環境が充実していること	37 市民、地域、行政が協力し、快適な生活が実現していること	48 豊かな緑に囲まれた生活が実現していること	58 地域の特徴を活かされたまちであること	68 日常の暮らしに安らぎや癒しを育んでくれる場所があること	76 豊かな地域資源を大切に活用し、楽しい体験ができるまちであること
活動	(C) 持続的活動（伝える・維持する）	4 暮らしで活用できる様々な資源を有効活用していること	10 子どもが、住んでいる地域で暮らし続けたいこと	25 安全・安心を高める活動が盛んであり、防災意識の高まりが顕著であること	28 地域のために、一人ひとりの活動が大切にされていること	39 身近にある緑が調和的に保全されていること	50 市民の環境美化への意識を高める工夫がとれていること	60 まちに着る者が多く、活気があること	69 市民が利用する身辺施設が大切にされていること	78 賑わいのあるまちであること
	(D) 創造・推進活動（発展・チャレンジ）	5 地域で活動して、暮らしやすさを増進する活動が行われていること	11 地域の歴史・文化・教育活動に活用されていること	21 市民が協力しあっていること	29 いろいろな世代、いろいろな人たちが、交流できること	40 地域にある様々な環境資源が活かされていること	51 革新的な環境対策がとられていること	62 緑の保全がとれていること	71 様々な主体によって、身近な公共の場が維持管理されていること	80 市民と事業者が交流できる機会や場があること
基盤	(E) 交流基盤（交流・つながり・連携）	6 誰でも気軽に市内の情報を発信したり、得ることができること	12 地域が子どもを育てる環境であること	22 様々な世代が、快適に住みやすいまちであること	31 社会参加の場があること	42 市民同士が協力しあっていること	52 乳業的の環境対策がとられていること	64 商店街と大型店舗が共存共栄し、活気があること	74 様々な主体によって、身近な公共の場が維持管理されていること	83 市民と事業者が交流できる機会や場があること
	(F) 市民生活の基盤（守・育む・人材育成・仕組みづくり）	7 おいしく暮らすこと、助け合いの心で暮らすこと	13 子どもたちが積極的に交流できる場が確保されていること	23 福祉が充実し、子どもから高齢者までサポートされていること	32 子育て世代が安心して暮らせること	43 子育て世代が安心して暮らせること	53 市民・地域が協力し、持続可能な環境がとれていること	65 市内の交通・物流がスムーズに行われること	72 いろいろな市民の力が活かされていること	82 暮らしならではの取組みが実現されていること

①協働型の課題解決で連携を促す
②強みや魅力の維持・向上
③より効率的に価値の維持
④拠点と振興ある未来戦略